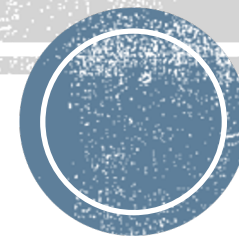


ながら運転防止システム

NE20-1252B 太田萌果



概要

ながら運転を防止するためのシステム

スマートフォンの加速度センサーで加速度を取得

基準値以上の値を取得したらメールで警告

課題と目的

課題：ながら運転の危険性

目的：ながら運転の防止



想定ユーザと利用イメージ

想定ユーザ

車の運転をする人

利用イメージ

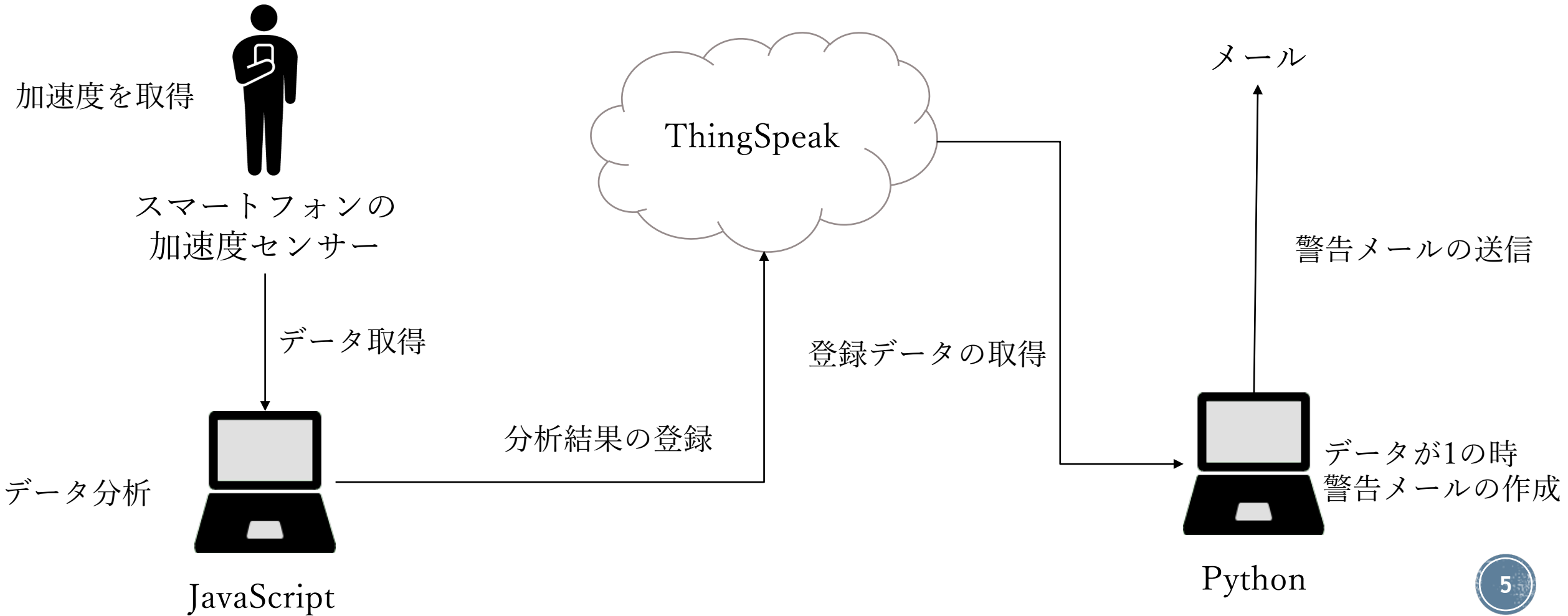
免許取得時にインストール

スマートフォンを使用している間は常に起動

機材

- ・ スマートフォンの加速度センサー
- ・ パソコン
- ・ JavaScript
- ・ ThingSpeak
- ・ Gmail

機能



実際のデータ

値が1の時は走行中

値が0の時は信号などでの停車中



実際に取得したデータのグラフ

データの活用方法

使用したセンサーデータ：スマートフォンの加速度センサーのデータ

車に乗っているかの判断に活用

基準値と比較して0、1の2つに変換

1の時は車に乗っていると判断

現在の達成状況

達成

- ・ 加速度の取得、送信
- ・ データの分析
- ・ 分析結果のThingSpeakへの送信
- ・ ThingSpeakからのデータの取得

未達成

- ・ 警告メールの作成、送信

まとめ

ながら運転防止システム

スマートフォンの加速度センサーを活用

ながら運転を感知したら警告メールを送信